

除草剤の散布遅れに注意！
ポイントを押さえて効果発揮！



1. 雑草対策のポイント

①なるべく早く！

- ★ 代かきから田植までの期間をなるべく短く(2日～3日)しましょう。
- ★ 1発剤のみの場合は、使用基準を守り、できるだけ早く(田植後7日～10日)散布しましょう。
※難防除雑草は発芽後の散布では効果が劣ることがあります。
※雑草の多い圃場は初期剤+1発剤の体系処理にしましょう。

②除草剤散布時はやや深水！7日程度水の移動を避けましょう！

- ★ 散布前に5cm程度入水し水口・水尻はしっかり閉鎖しておきましょう。
※特にフロアブル剤・ジャンボ剤を使うときは田んぼの中に十分広がるように5～7cm程度の深水にしましょう。
- ★ 散布後7日間は水口・水尻は閉鎖したまま止水管理としましょう。除草剤散布後、薬剤がしっかり土壌に吸着されるまで田面の水を動かさないことが大事です。

③強風時は散布しない！

- ★ 強風時は成分が均一に広がらず薬害の発生や除草効果の低下が心配されます。使用は避けましょう。

～ 田植同時処理の注意点 ～

移植後に根が多く露出していると薬害の心配があります。また、植え穴の戻りが悪い圃場や極端な砂壤土では薬剤が根付近まで浸透し薬害が出る恐れがありますので田植同時処理を行わないでください。

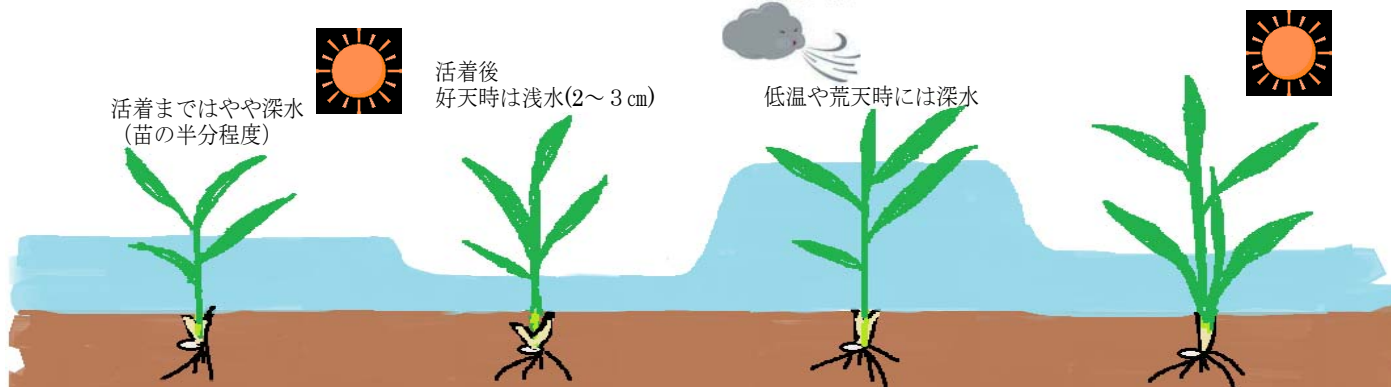


～ アオミドロ・表層剥離 ～

大量に発生すると、太陽の光を遮断し水温・地温の上昇を妨げ生育を遅らせます。除草剤を散布しても拡散を妨げ、薬害や除草効果の低下が心配されます。夜間落水やアークエース(初期剤)、田んぼの鉄人を散布しましょう。

2. 初・中期の水管理

- 活着するまで(新根が3～5本発生するまでの7～10日間)はやや深水として、保温的水管理を行いましょう。
- 活着後は浅水として分けつの発生を促し、良質茎の早期確保に努めましょう。



【 北越後おすすめ資材 】

	資材名	成分数	特徴	持ち帰り価格(税込)
初期剤	メテオ	1	・特裁米除草剤 ・イネに高い安全性	(1キロ粒剤) 907 円
	アークエース	2	・アオミドロ対策に高い効果	(1キロ粒剤) 1,792 円
初中期一発	カウシルコンプリート	2	・特裁米除草剤 ・ヒエに対する効果、残効が非常に長い ・クログワイ、オモダカに高い効果	(ジャンボ剤) 3,132 円
	キマリテ	2	・ヒエの残効が非常に長い ・ホタルイ、コナギ、アゼナに高い効果	(ジャンボ剤) 3,456 円
	天空	3	・イボクサ、アシカキの侵入雑草に強い ・クログワイ、オモダカに高い効果	(ジャンボ剤) 3,585 円
土壌改良材	田んぼの鉄人	-	・アオミドロ対策に高い効果 ・鉄の補充にも◎ ・農薬成分を含まないので特裁にも◎	(5 kg) 1,058 円

※初期剤使用時期に注意！移植前・播種前使用は「7日前まで」です。



☆田んぼの鉄人の上手な使い方☆

除草剤散布前にワキや藻類・表層はく離の発生が見られたら『田んぼの鉄人』を一振り！
スポット処理でOK！薬剤成分を含まないので特別栽培米や減減栽培にも使えます。
土壌への鉄の補給もできて一石二鳥！



上記以外の剤型・規格も取り扱っております。

お問合せ・購入は『JA北越後 配送センター (TEL:26-7700)』または
お近くの『ほっとコーナー』で

◎水稻栽培記録簿の記帳をお願いします。

栽培記録簿の記帳提出はJA米の必須条件です。まとめでの記帳は大変ですので作業をしたら記帳をするようにしましょう。最初の提出は、5月末となりますので確実に提出をお願い致します。

◎農業機械による事故に注意！

道路を走る際は道路交通法を守り、安全に走行しましょう。
作業は急がず、安全確認を十分に行いましょう。

